

ヤマハ
ボート

YAMAHA BOAT NEWS NO.41



北海の荒波に挑戦!

STR-23SCR 進水

特集=第12回東京ボートショウ

霧笛の季節

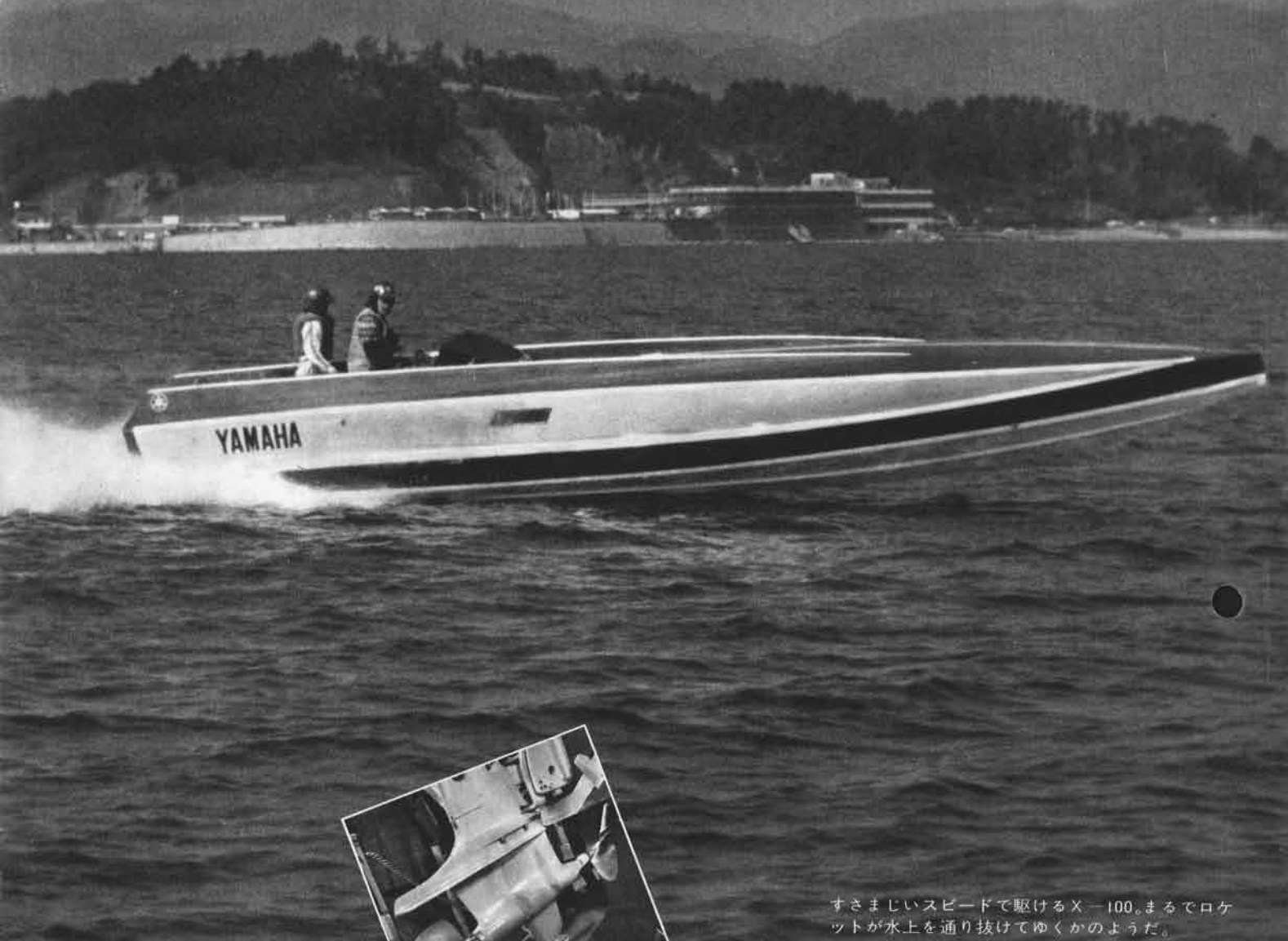
初夏から盛夏にかけて、襟裳岬から三陸沖、時には房総沖までもが海霧の季節。船乗りの諺に、時化は極楽、濃霧は地獄。……とあるが、視界を奪われる濃霧は時化とともにボートの大敵。

暖かで湿った空気が水温の低い海面に流れると、下から冷却された水蒸気が凝結して霧となる。関東から東海沖、瀬戸内海では、冷水塊や、寒冷な気流に冷やされていた沿岸部



と、高温多湿な空気が触れあって霧を発生する。……日本海を低気圧が東進し、それにつれて、それまで太平洋岸沿いに停滞していた前線が北上する……。梅雨の中休みや、梅雨明けの天気は霧にご注意。

海霧に蔽われたら、ボートの位置（船位）^{ガス}や他船の行動によく注意し、一分間をこえない間隔で有効な音響信号を行いながら、その時の状況に適した速力で航行しましょう。



すさまじいスピードで駆けるX-100。まるでロケットが水上を通り抜けてゆくかのようだ。



水上を駆ける!

X-100のテストラン

エンジンがうなりをあげ、スロットルレバーに力が入ると、さらにスピードがあがり、ブレイキングの状態になるやすぎましい速度で水上を疾走する。テスト結果は、非常に良好で予想をはるかに上まわるスピードをマークした。

まさに水上を駆けるロケットである。そしてスピードを追求することによって生まれたスタイリングが、全く新しいファッショナブルなボートデザインを完成させている。



今年の東京ボートショーに参考出品され、最も大きな話題を呼んだX-100のテストランが行われた。

この試作艇は、ホルマン・ムーディ350馬力2基をタンデム方式に搭載、しかも左右逆回転のプロペラを前後に配置するという全くユニークなドライブ方式をとったところが大きな特色となっている。

水面上に浮かんだX-100は、ペラを深く沈めその特異なハルの底部をかくして、ますますウルトラスレンダーをきわめたさせたプロポーションをみせている。

スピードを最優先させて設計されたデザインは超細長の特長あるプロポーションを生んだ。



北海の荒波に挑戦!

STR-23SCR 進水

ストライプ23スポーツクルーザー



オーナーの大城英靖さん。



STR-23SCRの一号艇がこのほど小樽市で進水しました。オーナーになったのは同市で金融業を営む大城英靖さん(34)で、酷寒の北海道の短かいシーズンをフルにボーティングを楽しむために、かなりのラフコンディションにも乗りだすことが多く、それに耐える性能と安定性があること、もちろんスピードも充分に味わいたいということから、特にこの23SCRに的をしぼり、東京ポートショウに展示されたというニュースが入ると直ちに北海道ヤマハにおもむいて、とりよせるよう切望したというものです。

大城さんはビジネスの合間、寸暇を惜しんで奥様や知人に乗せて、豪快な北海のランナバウトを楽しんでいます。

STR-23SCRは、STR-20SCRのスポーツ性とSTR-25OSPの豪華さをとり入れた、大型スポーツクルーザーの決定版です。特に深い船体構造は、走行時の安定性を向上させ、ラフシーンに強く、スピードを損ねることのない優れた機能を誇っています。

ゆったりした広いコックピットと居住性のよいキャビンは、ファミリーユースにもピッタリで、280ℓを収容できる大型フェルタンクは、より長距離のクルージングを可能にしました。

仕様 ● 全長	7.08 m	● 深さ	1.36 m	● 推奨馬力	240~280(PS)
● 全幅	2.44 m	● 重量	1,250kg	● 定員	10人



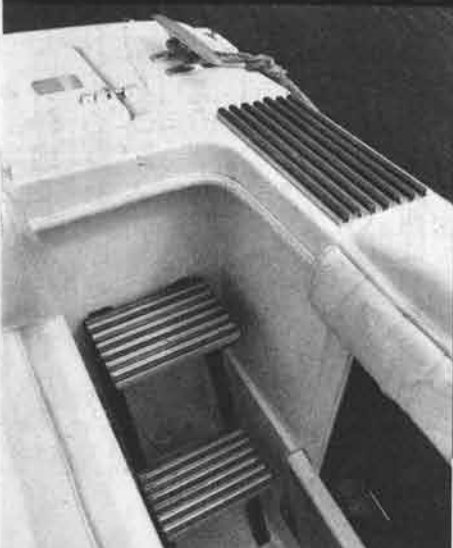
ステアリングまわりは計器類もコンパクトにセットされ使いよい。



キャビンも十分なスペースを確保してあります。



エンジンカバーにもシートがとりつけられました。



スターンにとりつけられたステツブは、滑り止めが施されていて乗り降りが容易です。



その名も「TIGER SHARK」小樽沖を豪快に飛ばす「虎鯨」号。



小樽市の祝津マリーナで進水、興きまど友人を乗せて早速エンジンスター。

東西で華やかに合同進水式

シーボニア
ヨットクラブ

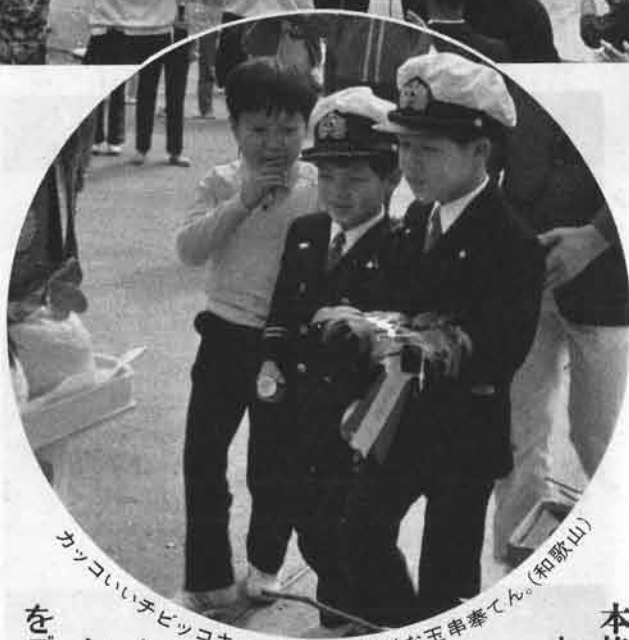


ジャンボなクス玉が割られて合同進水式も最高潮です。

湘南のシーボニアヨットクラブでは、YAMAHARA 21セルボートが2艇、「Oh・MARY」号（奥山艇）と「HEADWAY」号（鈴木艇）を中心に、STR-19CRの「VESPER I」（木村艇）、STR-19SPは「JUMBO」号（入交艇）、STR-18CRの「BACHUS」（筒井艇）とSTR-15（金子艇）の6艇で、ディーラーが三越デパートということもあって演出の見事な合同進水式をくり開けました。

三越はボートセールスを開始してから三年になりますが、現在は専門のセールスマンがチームを組んで本格的な売込みを行なっており、今度の合同進水式もその成果の一端を示したものです。

さすがにデパートだけあってお客さまの管理体制もとのつており、独自のオーナーズクラブやレディスヨットクラブ、マリナークラブを運営して、会員も一〇五名を数えるという盛況をみまわっています。



カッコいいチビッコキャプテンの神妙な玉串奉てん。(和歌山)

本格的なボートシーズンの開幕とともに、各地でヤマハボートがぞくぞくと進水しています。

地区によっては、お客さま同志の都合をくり合わせて合同進水式を行ない、いつそにぎやかで楽しいスタートにしています。

その中から関西は和歌山マリナー、関東はシーボニアヨットクラブで行なわれた合同進水式をご紹介します。



マイボートに乗り込んで、乾杯を話し合う。

「乾杯」みんなと一緒に味わうシャンペンの味は、のどのすみずみまでしみわたります。



オーナーはそろって和歌山の若き経営者仲間。日曜日がゆっくりできるというのであえて仏滅の日をいとわなかった。

一方、和歌山マリーナでは、STR—28 CRの「BLUE DOT」号(辻艇)をはじめ、STR—25 HTの「秀克要」号(田中艇)、STR—20 CCRの「MIT UO」号(吉原艇)、STR—19 CRは2艇で「番長II」号(寺合艇)と「ICII」号(湯川、井神艇)の大型艇がずらりといった豪華な合同進水式です。

オーナーはいずれも和歌山市の若い実業家ということで、なかなか景気のいいところをみせています。

ディーラーの「マリノールームオオタ」は、昨年までは同じ「フレンドマリノクラブ」のオーナー仲間だったということで、メカニックに強いことなどからみんなに勧められてマリンショップをオープン、商売をうまく軌道にのせてこの合同進水式となったものです。

当日は進水式のあと連れだって、およそ20 km離れた淡路島の洲本港へクルージングして、岸壁で祝盃をあげ直すといった、和やかな初クルージングでした。



あいにくの曇り空だったが、全艇快調に淡路島へむけ初クルージングを行なった。



淡路島洲本港へ着くと岸壁に車座になりあらためて祝杯をあげ進水を祝った。



若い女性から花束を贈られてゴキゲンです。



進水式前オーナーのみなさんは早速こみ、うれしいボーティングのブラ

第12回東京ボートショー



パビリオンを圧倒!



ターバンが印象的なインドのお客さま。会場へ訪れる外人も多くなった。



熱心にヤマハコーナーを見学していた外人交娘。「ジャパニーズヤマハシッ プテモステキ……」

インナップで東京ボートショーに訪れた人々の話題をさらった。



12chの歌謡番組中継。ヤングのアイドルが唄い踊った。

ボートファン待望の第12回「東京ボートショー」は、3月21日から5日間、おなじみの東京晴海、国際貿易センターで開催されました。

折からのマリンレジャーブームが反映して、出品社数も11社を数え、出品数もボート、ヨット305隻、エンジン237と大幅に増え、会場も4館を使用するという大規模かつ華やかなものとなりました。

外国からの出品も多く、船具やアクセサリもバラエティー豊かで、訪れたシーマンの目を楽しませていました。会期中の総入場者数も10万人をオーバーするという、まさしく記録づくめの「太陽と海の祭典」でありました。



コンサルティングコーナーも大にざわい。



おなじみの梅宮辰夫さん。奥さん
同伴でSTR-43CRを見学



会場はさまさまのTV番組で紹介されたり、ショウの
舞台になった。これは6chの圭三訪問の一コマ。



オープンの日に訪れた三笠宮寛仁親王殿下。
なかなかのマリン通である。



ヤマハの大型クルーザー群。昨年の熱海オーシャンカップ
に優勝した「747」号が特別出品され人目をひいた。



いよいよ「海の時代」が来た。ヤマハコーナーは今年も時代を先取りした強力なラ



会場に色どりをそえたモデル嬢。解説も名調子で人気の的。

その中であってヤマハは、最も大きなドーム「雲のパビリオン」の海のスペースをとり、ボート、セールボート31艇、船外機10種を出品するなど、トップメーカーとしての実力を示しました。

今回も数々のニューモデルを発表しましたが、参考出品された、X-100はその驚異のメカニズムにおいて、STR-43CRは豪華な内容によって特に注目を集めました。

また、「スカンピ」の名で世界に知られた、ピーター・ノーリン設計の名艇が、YAMAHA 30として登場、マニア垂涎の的となりました。

内外で好評を博している、ヤマハ船外機シリーズは、全タイプモデルチェンジを敢行、加えて50馬力を参考出品しました。

業務用としては、DT-58の大型艇を出品してアツといわせ、また、数多くの用品の即売をするとともに、「安全と楽しさをつなぐヤマハ」をテーマに専門的な各種教室のコンサルティングコーナーを開設して、海上安全思想の普及に力をそそぐなど、各セクションにおいて「さすがヤマハだ」の呼声が高く、ショウ会場の人気を独占しました。



BOAT SHOW

第3回

—国際色豊かな—

大阪ボートショー

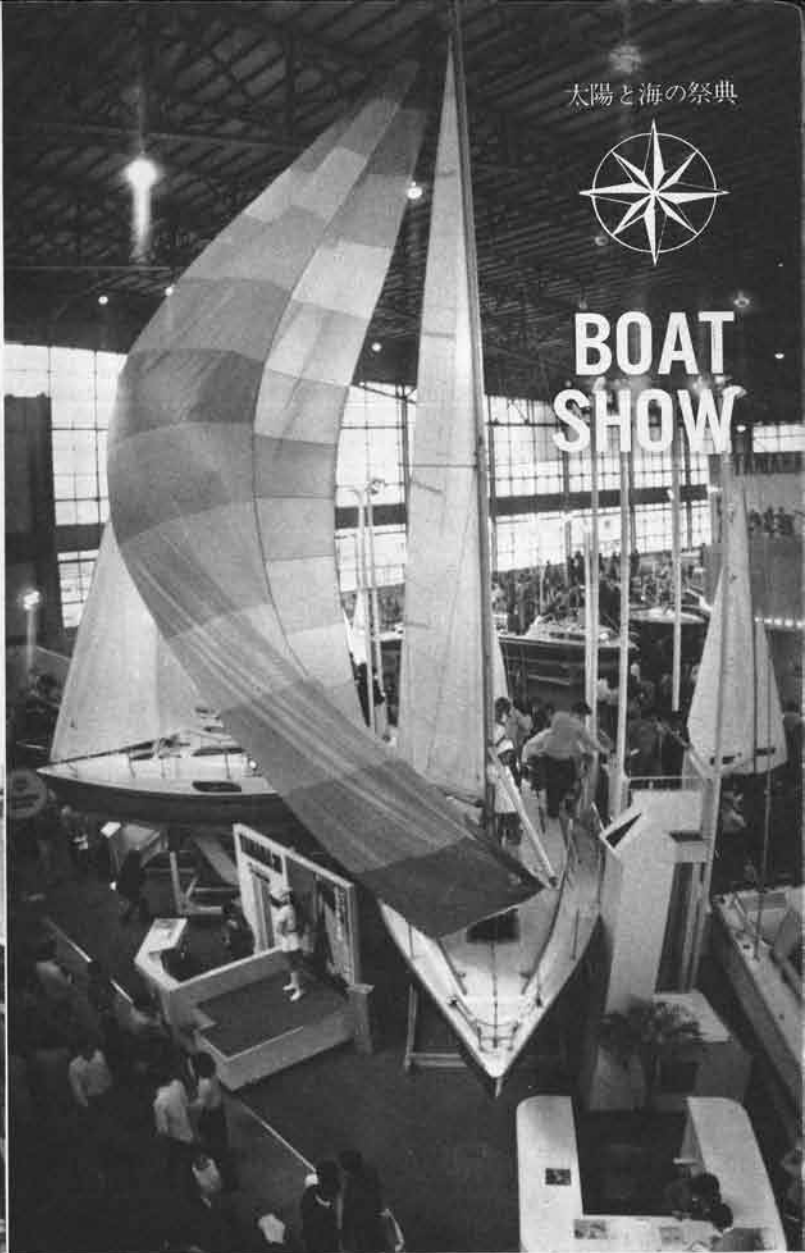
第3回大阪ボートショーは、4月6日から3日間、朝潮橋の大阪市国際見本市会館1、2号館を会場に開かれました。

内容的には東京ボートショーとほとんど変わりませんが、いくぶん小型化しています。出品社は35社で、ボート、ヨットが140艇、エンジンが120機種が出品され、年々スケールアップの傾向にあります。ヤマハコーナーは、2号館の半分のスペースを占め、ここでも他社を圧倒しています。ことにYAMAHA 30がファンの人気を集め、見学順番待ちの列が切れない程度でした。

期間中の入場者は5万8千人を数え、飛躍的な増加ぶりをみせていました。



大阪会場も年々大型化して入場者数もうなぎのぼり。



ヤマハ30はここでも人気の的。ヨットファンがワッと群がった。

名古屋初の総合ボートショー開催



第1回名古屋ボートショーは、4月14日より3日間、吹上ホールで開催されました。名古屋ではこれまで、ヤマハが単独でボートショーを行なってきましたが、今年から他社も合同出品して名古屋ボートショーとなったものです。

2館の会場には計44社が出品しましたが、その内容はボート、ヨット20社、エンジン11社、用品13社で、とくに商社の輸入製品が名古屋では珍しいところですが。

ヤマハは31艇を出品、73艇がずらりと勢揃いして、コーナーにはいつも人だかりが絶えませんでした。

会期中、4万人以上が入場し、同地の需要層の厚さを示していました。

名古屋会場も大きな市場を背景に多くのお客さまを集めた。



やってきた大型マリナー時代の、すべての要求に即応できる強力なヤマハのラインナップです。X-100、STR-43CR、YAMAHA30を中心にカラフルにレイアウトされました。

太陽と海の祭典



12 TOKYO BOAT SHOW

あざやかに海を彩る

カラフルヤマハ | ラインナップ

今回のシヨウに初めて出品されたX-100をはじめ、STR-43CR、STR-23SCR、YAMAHA30、DT-58の新艇とヤマハ船外機50馬力のいずれもが、ヤマハの持てる技術をフルに発揮した高性能と、洗練されたデザインとの見事なバランスをみせて、東京ボートシヨウのハイライト的存在として人気を集めました。



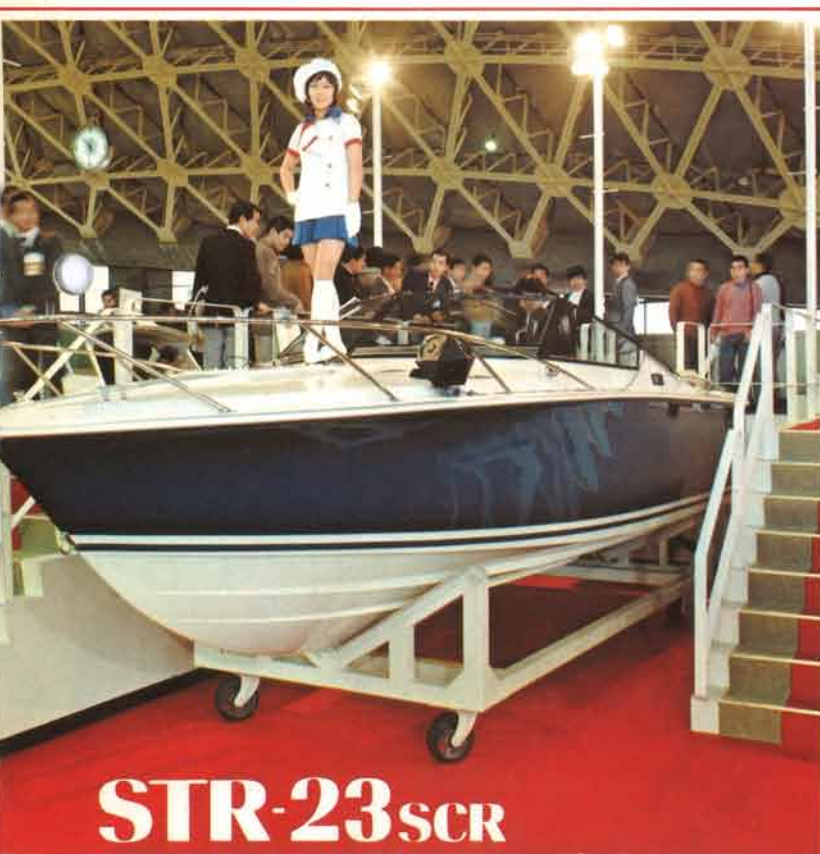
YAMAHA 9 から36まで、ほぼライン化を完了したヤマハセルポートシリーズがずらりとたちならび、まるでセルの森を見るような圧観です。

東京ボートシヨウのヤマハコーナーは、貿易センターで最大の一号館「雲のバビリオン」のほぼ1/3のスペースを占めるといふ圧倒的な出品点数で訪れたファンを驚ろかせました。



STR-43CR

ヤマハが世界にその実力を誇示した超豪華大型クルーザー。ますますジャンボ化するマリンレジャー時代を象徴して話題を集めた。



STR-23SCR

昨年から話題になっていたが、さらに改良を加えられてこのショウに初めてお目見えした大型スポーツランナバウト。



船の中とは思えない程広々としたメインキャビン。



超ワイドな視野とゆったりとしたスペースが確保された操舵室。



12th TOKYO BOAT SHOW



参考出品された試作艇。モーターボートの既成概念を一変させた特異なスタイリングと、タンデム方式のエンジン搭載やコントラベラなど、数々の新メカニズムをとり入れて、まさにドリームボートの実現を思わせた。



YAMAHA 30

世界のハーフトンカップレースで何度も優勝をさらっているスウェーデンの名艇「スカンピ」がヤマハから売出されるとあってヨットマンの関心を呼んだ。



チェーンがぐっと張りだしているのがこの艇の特色で、さすがに内部は広々としている。

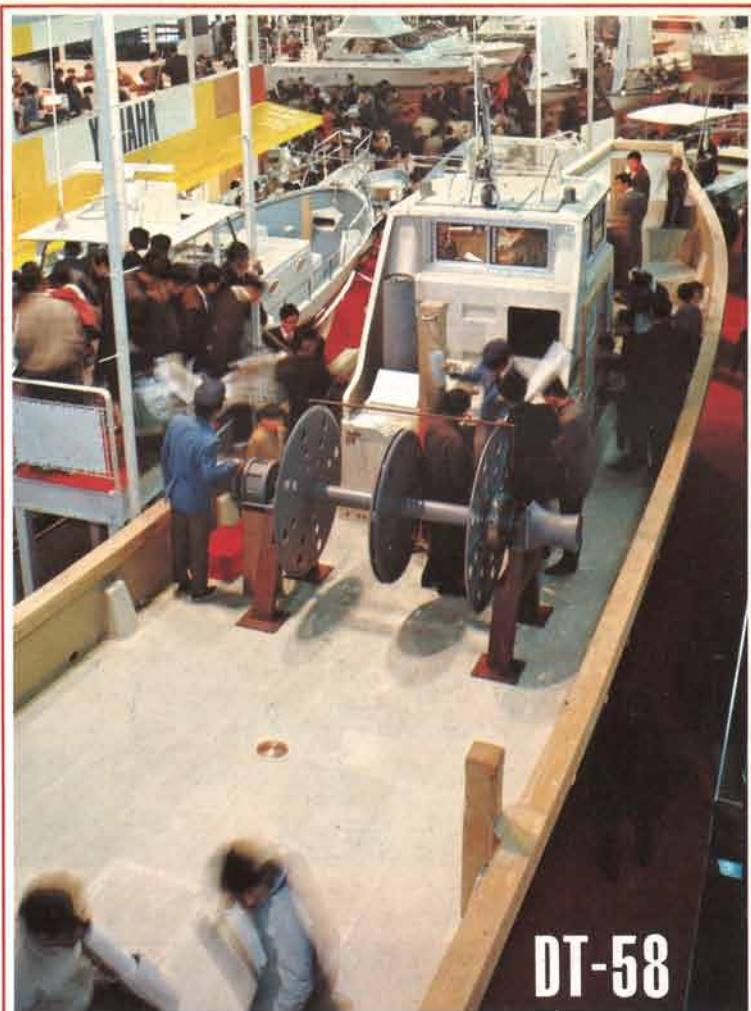


コンパクトにまとめられたギャレイ部分と右手はバース。



ヤマハ船外機50馬力

参考出品されたヤマハ船外機50馬力。パワフルシリーズの最主力タイプ。中型ランナバウトや大型和船とのコンビで活躍が期待される。



DT-58

さらに速くへ漁場をひろげた大型業務艇。日本の漁業はこれまでの木造船からFRP漁船に大きく変わろうとしているが、この艇の出現でさらにそのピッチが早まりそう。

12th
TOKYO
BOAT
SHOW



ヤマハ船外機シリーズ

ヤマハ船外機シリーズは全機種モデルチェンジしてカラーリングが統一された。2・A・5・A・5Bが白、9A以上が濃紺を基調としたカバーデザインがフレッシュな印象を与える。



「この夏にはなるべく家族全員でクルージングに出かけるようにしようと思っています」と西津さん
(昭和45、S.T.R.18 S.P.進水式にて)



私がボートを購入した動機は、それまで楽しんでいた磯釣りに限界を感じ、より以上のものを求めてボートに目をつけたのです。昭和42年のことです。

幸い近くにヤマハの販売店がありましたのでそこでいろいろ話をうかがい、多くのボートの中から格安な12ftボートを選びました。これがボート遊びのはじまりです。

遠出というわけにはゆきませんが、近くの入江などでボート釣りを楽しみました。しかし人間の欲は常に現在のもので満足できるものではなく、翌年には15ftにきり替えました。それからはボート仲間の友人達4、5名とで、それぞれのボートで遠出するようになりました。しかし、友人達の

私はヤマハオーナー！シリーズ 1



福岡市大字下和白
西津萬亀男さん

漁師も顔負けの大漁つづき

ボートはいずれも大型で馬力も強く、行きも帰りも、私は常に最後尾からついて行つたものでした。

翌年16ftに替え、さらにその翌年には18ftに替えました。18ftになると、さすがにボート釣りの醍醐味も本格的なものになり、週末には大島、壱岐、平戸方面へ足をのばしました。いつも大型アイスボックスにあふれるほど釣ってきたものです。

しかし、これらはあくまで日帰りというところで釣りの時間が限られており、これからという時にはもう帰路につかねばならない、ということがしばしばありました。そんな時、キャビンのあるボートなら思う存分釣りを楽しむことができるのではと思い、現在の20S

CRに買替えたというわけですが。

この艇のキャビンは、大人三人がゆつくり寝ることができ、一泊二日あるいは二泊三日で離島へ出かけることができます。近くには沖島など無人島も多く、釣場には非常に恵まれています。5、6kgの鯛やブリを釣るのはざらで、まさに漁師顔負けの収穫をあげたものでした。

これだけの釣りの醍醐味を味わえるということは、釣天狗にとつて最高のものだといっても過言ではありません。

しかし、これはボートあつてこそ味わえることで、しかも、ボートは船体、エンジンともに信頼できるものでなくてはなりません。その点、私の20SCRは船

体も深く安定しており、大波にも強く、エンジンも適正で、スピードはあのモトクロスでジャンプした時のような痛快さを感じさせてくれます。

私はつとめて、従業員をはじめ近所の子供達を連れて、あの雄大な青い海に出かけるようにしています。そこは、事故の多い陸とは異なり、素晴らしい開放感にひたることのでき、みんな満足して帰るのをみます。まさしく、ボートイングは、現在のレジャーの中で最高のものといえましょう。

これからの本格的シーズンには、妻や子供をクルージングに連れてゆき、家庭サービスにも役立てたいと思っています。



海、湖沼ともこれからがポットフイツシン
グのシーズンになる。特に湖沼のトロリーリ
ングはルアーフイツシングの花形である。ギジ
釣りともいわれるように、本物のエサを使わ
ず、金属や樹脂でつくったニセ物のエサで魚
を誘って釣りあげるだけに、エビやミミズを
使った釣りとは別の楽しさがある。さて、ル
アーフイツシングばかり普及していて、ポー
トのオーナーは程度の差はあるが一応道具を
用意するようになっているので、中級者向き
の解説を試みよう。

●ルアーの種類



プラグ

スプーン、プラグ、ジグ、スピ
ナー、ストリーマーなどに大別さ
れる。細かく分類すると同じプラ
グの中にもフラットフイツシュ、
ミノータイプ、同じミノータイプで
もシンキングタイプ、フロータイ
ピングタイプなどがあるといつたぐ
あい、一通り揃えたと三百種類
にも及ぶ。夏の始めから秋までの
湖沼で釣れるニジマス、サクラマ
ス、ヤマメ、イワナ、ナマズ、ラ
イギョ、ブラックバスなどが、
スプーン5種類、プラグ5種類と
念のためフラットフイツシュを2
種類くらい用意すれば十分だ。

説明が逆になつたがスプーンは金属製の靴
ペラのような形をしたもので湖沼のトロリー
ングには、8号から14号のスプーンが手頃で
ある。オークラ、ジョンソンスプライト、ト
ビーなどが最も多く使われる。色はゴールド、
シルバーそれにコパー(銅色)など変化を考える。
プラグは主としてバルサ、合成樹脂が材料
で、イミテーションルアーと呼ばれる小魚や
カエルのような形をしたものと、ファンシー
ルアーとも言ふべき実在しない小動物?のよ
うにつくられたものがある。ミノータイプ
と呼ばれるものは小魚の形をしていて、上層
を引くフローティングと、下層へもぐるシン
キングと二つのタイプがある。

フラットフイツシュは上下、左
右に大きなアクションをするよう
に設計されている。アタリはある
がヒット(ハリがかり)しないよ
うな時に使うと、近くまで追つて
来た魚のエラか頭のどこかにハリ
が刺さる。しかし、フラットフイ
ツシュはよほど食いの悪い場合の
ほかは乱用しないことだ。
スプーンにしてもプラグにして

も、動きがないと魚は追ってくれないので、
ポットの機動性が必要である。適当なスピー
ドで引かれるルアーはバイブレーションを起
こすように作られている。魚がルアーを追っ
かけるのは、魚などに似ているだけではなく、
ルアーの揺れによって生じる水中音波によつ
て食い気を催させるのである。つまり、魚の
条件反射を利用する訳だ。魚の体側にある点
線(側線という)は集音マイクの働きをする
といわれている。

●道具だてについて

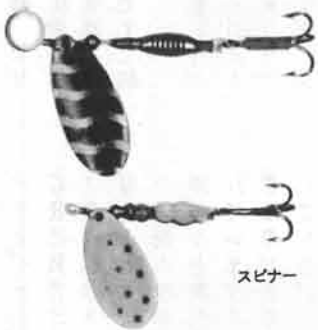
トロリーングロッド湖沼では本格的なも
のは必要ではない。ポットロッドの2・5号
から精々3号のもので十分である。リールシ
ートがしっかりしていて、あまり軟調ではな
いもの、リールシートからサオ尻まで40号く
らいあるものを使いやすい。グラスロッドで
国産品なら五千円以下で買える。

ラインナイロン糸(モノフィラメント)
にシンカー(オモリ)をつけるか、レッドコ
アライン(沈むライン)と呼ばれるナマリ
の糸をテトロン(組糸で包んだもの)を使う。

●魚の回遊層など

季節や天候によって魚は上層近くを回遊し
たり深い所を泳いだりする。魚の動きは水温
や溶存酸素の状態など色々な条件によって変
化する。6月から7月の始め

までは梅雨期だから、どつと
水が出て濁るようなことはま
れだ。新水が入ると、酸素が
豊富だから魚に元気があつて
比較的に上層を回遊している。
水面から2・6号くらいの
所をルアーを引いて成功する
ことが多い。青空になって強
い太陽が湖面に当るようなら
魚は深い所へ移動する。した



スピナー

ライト ルアー 釣り

シャバンキャストイングクラブ
●米地 南嶺●

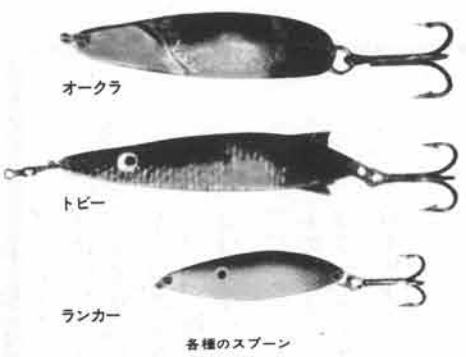


がってルアーを引く層(タナという)を変えてみて、早く釣れるタナを突きとめるのが大事なことである。

ルアーを深くもぐらせるのにはシンカーを重くするか、ブレンダー(深度調整器)のアンクルを大きくする。ボートのスピードをさげても、リールから出ているラインを長くしてもルアーは深い所を泳ぐ。特にレッドコーアラインを使った場合はラインの長さを変える

と深度調整がかんたんにやれる。リールはスタードラグの中型、モノフィラメントなら5号を150くらい、レッドコーアラインは16ポンドテスト(最も細い)を100ヤード巻いておく。

ボートの速さとコースの取り方がトロリーリングの勝負どころだ。大体駆足の早さが適当だといわれているが、3月から4月いっぱいといつばいと8月はややゆつくり、5月と6月それぞれ9月中旬から10月いっぱいには多少スピードをあげる。



各種のスプーン

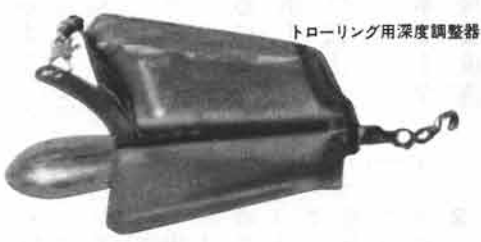
海も同じだがトロリーリングで大物をねらうのには幾分スピードをあげる。ゆつくり引くと数は釣れるが大物は釣れない。水温が低過ぎたり、照り込みが続いて水温が上がり過ぎると魚の動きが緩慢になる。スピードが早過ぎると魚がルアーを追い切れないので、

ボートをジグザクに走らせたり、旋回したりして、ルアーのスピードに変化を持たせる。ルアーを引くスピードに変化を持たせることは、ルアーを引く層にも変化が起きることになる。

とにかくトロリーリングにしてもスピニングキャストイングにしても、ルアーで釣るには、ルアーのスピードに変化を持たせるのがコツである。直進する場合でもスピードに変化を持たせるようにする。

淡水のトロリーリングでもボートは12フィート以上14フィートくらいのもが手頃だ。クルーザーなら快適だが、湖沼のトロリーリングはボートもないような山上湖に出かけることが多いので運搬の点で大型ボートは不向きだ。エンジンは10馬力程度で十分だがスローの利くように万全の整備をしておく必要がある。ボートは多少大きいものでもサオを出せるのは3人が精いっぱい、出来ればサオは2本にしたい。魚がかかったら他の1人は急いでシカケを巻き取って、取り

込みに際してオマツリ(糸がからみ合うこと)をさけることと、減速することを忘れないことだ。マス類はハリにかかるとフアイトが素晴らしい。特にニジマスはジャンプを繰り返すので40ヤードでも迫力に満ちた釣りが楽しめる。



トロリーリング用深度調整器

●スピニングキャストイング

同じルアーフィッシングでも、スピニングキャストイングは、ルアーをリールで巻きよせる。したがってポイントの近くにとめてボートから投げる訳である。マスやヤマメのいるような山上湖は樹木が茂っていたり、足場が悪かったりと思うようなポイントへ入れないので

ボートを使わないと釣りにならない。エンジンをとめてボートを流しながらキャストイングする場合と、アンカーを入れて目ざすポイントをじっくり釣るやり方がある。

道具だては、片手振りのスピニングロッドの6〜8フィート、中型のスピニングロッド(インスプール)ラインはナイロンの1・5号150くらい巻いておく。

ルアーはトロリーリングと同じでスプーンとプラグが主役だがトロリーリングより軽いルアーも準備しておく。目ざすポイントヘルアーを投げてリールで巻いてルアーにアクションを与える。

この釣り方ではカウントダウンが大切だ。リールが水面に落下してからリールを巻き始めるまでの「間」の取り方でタナが決まる。例えば投げてから1秒後にリールリングを開始すれば水面下1・5秒くらいのタナを引くことになり、3秒後に巻き始めると4〜5秒下を引くことになる。

15秒くらい沈めるためには8秒も10秒も時間をかけてルアーを沈めることになるが、浅い所では底に引っかけてしまうこともあるのでルアーの重量や形などを考えて注意深いカウントダウンをしなければならぬ。

ボートフィッシングで気をつけなければならないことは同じ方向に向かって並んで投げることだ。サオを振る場合後の人の頭やジャンパーにハリをかけるようなアクシデントを起ささないためである。

トロリーリングにしても、スピニングキャストイングでもルアーを使った釣りはエサ釣りのようにポイント(点)を釣るのではなく、ライン(線)を釣る点が違うのだからポイントを見つけて、それに向かってルアーを投げるのではない。

魚のいそうな場所の近くをルアーを泳がせるつもりでやることだ。ルアーで魚を追ってはいけない。ルアーを追わせるようにすべきだ。これがルアーフィッシングの最も大切なことなのである。

これだけは身につけて 海のライセンスに アタックしよう！



48年度からボートを操縦するには、単独走航、複乗にかかわらずボート免許、つまり「小型船舶操縦士」以上の海技免許が必要になります。

このページは財団法人 日本モーターボート協会が主催する第一種養成施設の教習に使われている「実技教習教本」から必須項目を抜粋して、ボートの免許を取得するにはどのようなことを身につけなければならぬかを認識していただくとともに、日頃のボートイングにも忘れてはならないこととして連載してゆくことにいたしました。

ボートマンの常識

紺碧の海に真白な航跡をひいて走る素晴らしき！ 大海原を思うまま走りまわるボートイングの心地よさは、一度味わったら忘れられない楽しさといえましょう。

しかし、海には一面非情な厳しさがあり、楽しい半面のみにあこがれて海に出てゆくと、大自然のおきての厳しさを容赦なく思い知ら

されることとなります。
「海を恐れず、あなどらず」正しく海を知り、しっかりと心構えを持ったうえで海に乗り出しましょう。

モーターボートを愛する人々が、ボートマンとしての心構えを持ち、礼儀を守り互いに助け合ってこそ、はじめて安全で楽しいレジャーとしてのボートイングを味得することができます。

1、不慮の変に備えよ……

海の上に出ると、予想しなかったことが、ちよつとした欠陥や弱点をついて出てくるものですから、平素から対策を考えておきましょう。誰もがするエンジンや操縦系統の整備ばかりでなく、装備品についても、いつも機能がフルに発揮できるようにしておくこと。できれば乗員各々について、緊急時の役割を決めておくのが望ましいことです。

2、無理をするな……

海での事故は即乗員の生命にかかわってきます。「だいじょうぶだろう」「このくらいなら」の甘い考えは禁物です。天候の急変に充分注意し、日程や時間の無理をせず安全を第一と心がけるべきです。定員過剰や無謀操縦などは論外というほかありません。

3、冷静、沈着に……

ボートマンは、常に落ちついた態度の持ち主であつて欲しいものです。突発的に何か事故が起きた場合、あわてず冷静に事態を見きわめ、応急処置をする必要があるからです。

特に艇長は、事ある時は、よく乗員を掌握し、全員の力を合わせ、危険から脱出するよう最善を尽さねばなりません。

4、海のマナーを守れ……

昔から海に生き甲斐を見出す人々には、格調の高い誇りがありました。従つて海の男は礼儀正しく、他の人に迷惑をかけず、困った時には互いに助け合うというのが、船乗りの誇るべき資質であつたわけですから、これらの好

ましい慣習を身につけることは、ボートマンとしてもまた欠くことのできない資格であると思います。

ボートディングの常識

- ① 海上に出る時には、必ず行動予定を立て、これに従って行動しましょう。その場の思いつきで出かけるようなことは、絶対にしてはなりません。
- ② 行動予定は、基地のクラブや家族にもよく知らせておくべきです。もし途中で予定を変更したり、時間が遅れた場合には、余計な心配をかけないよう、すぐ基地に連絡をとるようにします。
- ③ 平常通り慣れた水域を航走する時でも、行動範囲や帰る時間を必ず知らせておきましょう。
- ④ 天候については、平常からその変化に注意して研究しておくべきですが、特にボートディングの当日の予報には注意し、無理を押し出かけるようなことがあってはなりません。
- ⑤ 艇の手入れや装備品の確認には念を入れ、自信のないまま海上に出るはなりません。
- ⑥ 海上の交通がスムーズに行なわれるよう、ボートマンは率先して海上衝突予防法、港則法、都道府県条例等に示された海の法規・ルールを守らなければなりません。
- ⑦ 海上では、海図やコンパスによって航走するときでも、山や岬、その他よくわかる目標を覚えておくべきです。
- ⑧ 燃料の残量にはいつも注意して、万一口を誤ったりした場合などを考えて、十分に余裕のある走り方をすべきです。
- ⑨ 海上では、風や雲の変化に注意して、天気が悪くなったり早目に帰る決心をしましょう。
- ⑩ 漁船や定置網には近寄らず、遠くを避けて走らねばなりません。

⑪ 海水浴場には、絶対に近寄らないようにしましょう。

⑫ モーターボートは、スピードも速く旋回性もよく、容易に避航できるので、他の種類の船に進路を譲らなくてはなりません。

● 手漕ぎの舟やヨットの進路を避けましょう。
● 大型船に興味本位に近づいたり、その進路に出てはなりません。

⑬ 他のモーターボートや一般船との距離が近くなった時は、相手がとまどうような走り方をしてはなりません。

⑭ 自艇のひき波は注意し、ヨットや手漕ぎの舟に迷惑をかけないようにしましょう。乾舷の少ない砂船や岸に係留中の小型に対しても同様です。

⑮ 港の入口では、お互いに譲り合って出入りしましょう。棧橋に船を着ける時も同様です。

⑯ 港内では、できるだけスピードを落とし、安全を期すべきです。

第一課・試乗

乗船方法 (乗り降り・同乗者)

(1) 安全の確認

船と棧橋との間隔が、容易に乗船できるかどうか。波のために間隔が広がったり、船が上下に揺れて不安定である時は、棧橋にいる者が船を押えて補助します。

(2) 乗り降り

船の中央部の座席から一人ずつ姿勢を低くして静かに行ない、デッキからの乗り降りや、飛び乗り、飛び降りはしてはなりません。

(3) 同乗者

- ① 同乗者全員に救命胴衣を着用させます。
- ② 定員を厳守すること。
- ③ 両舷に平均になるべく低い姿勢で乗せる。
- ④ 船内でみだりに位置をかえたり、機装品や装備品などに触れさせてはなりません。
- ⑤ 船内では、定められた場所以外のところでは、みだりに火気を使用させないこと。

操縦姿勢

(1) 上体の位置

自然のまま力を抜いた姿勢で、ハンドルに正対して腰掛けます。

(2) 正しい姿勢

上体は軽く背当てに接し、背を丸めず、頭を正しく前方に向けます。

(3) 腕の位置

通常、右手はハンドルの、時計でいえば針が2時のところを指している位置を握り、左手はスロットルレバーの上部を軽くにぎって、肩とひじの力を抜いて自然に下げます。

(4) 足の位置

両足は自然に離して、床または足かけの上におきます。

(5) 目標(速力に応じて変える)

目は前方約50m位の所を、一点でなく全体的に広く見るようにします。

乗船服装

軽快で動き易いもので、あまり素肌を露出しないものがよい。海上に出ると風が強く当たり、陸上よりよけいに寒さを感じることを考慮します。冬期は特に波しぶきをさけるため、防水性のあるものを選びます。

靴はデッキシューズや運動靴等の、底が柔らかくて、すべらないものを用います。

帽子は一般的につばの小さいもので、丈夫なアゴヒモのついたものが飛ばされません。

中部小型船安全協会「発足」



蒲郡ヨットハーバー会議室の発会式には関係者が多数参加。

小型船安全協会は、海洋レジャーを楽しむに際し、海を使うボートマンとしての道徳やマナー、社会通念を徹底させ、自然環境の保全と小型船の安全な航行を確保、これの健全な普及を通じて地域社会に寄与しようという目的で設立されるものです。すでに静岡県では駿河湾モーターボート安全協会と浜名湖モーターボート安全協会がスタートしており、こんどの中部地区は3番目ですが、ヤマハ名古屋支店に本部をおき、24のディーラーやマリナーが会員として参加しました。

中部地区は三河湾や伊勢湾などボート、ヨットの多い地域を有し、また漁業も盛んで、全国的にもその活動が期待されています。主な事業内容としては、東海海運局や海上保安庁の関係管庁と海難防止協会の情報を流すための新聞を発行したり、危険海域の指示や無謀運転の注意、海難救助、漁民とのトラブル防止の指示を行なう安全パトロール、また、ボートオーナーを対照とする安全講習会やマリナー保管艇オーナーに対する安全講習会を開いて、健全な海洋レジャーの育成をはかることになっています。



午後からは参会者全員安全パトロール艇に分乗して三河湾を一周。

ヤマハ大船渡製造(株)スタート

ヤマハでは天草、中瀬にひきつづき新しいボート工場を岩手県大船渡市に建設、5月10日、関係者を招いて竣工披露を行いました。大船渡からほど近い一万三千坪の敷地に二千五百坪の近代的な製造工場を完成、すでに操業を開始しています。漁・和船が主で、年間一万隻の生産を目標に、小型ボートも合わせて製造しています。



おだやかな大船渡湾をバックに建設されたヤマハ大船渡製造(株)新工場。



漁船ラインも量産体制に入った。



標準装備のまま他のレース艇を全く寄せつけず堂々の優勝を飾ったSTR-28SCR。

STR-28SCR

勝山グランプリも制覇

第3回勝山モーターボートグランプリレースは5月20日、勝山から浮島を廻る、一周5000mのオフショアコース(Aコース)で行なわれました。

この日のメインイベント第9レースは、内外のレース艇など27隻がエントリーしてグラブリーを争いましたが、千葉モーターボート協会所属のヤマハSTR-28SP「429」号

艇(鶴沢・大塚組)は、市販のSTR-28SCRそのままの標準装備で出場、見事優勝をさらいました。

このレースは風力13m、波高1.5mといふかなりきついコンディションの中でスタートしました、15週の予定を10周でレースを打ちきり、「429」が10周をクリアするとチエッカーがふられ優勝が決まりました。

「429」は波に強い特性をいかななく発揮して5周目から独走、昨年の熱海オーシャンカップで優勝した「747」に次いで、日本の代表的なパワーボートレースに、STR-28による二連覇目を飾りました。



南欧調でシャれたムード。逗子マリーナでの進水式。

伊豆大島↑モーターボートで直行!

東京の観光開発業者である司興業では、同社の大島別荘分譲地と休暇村へ直行する連絡艇として、STR-28SCR「エメラルドII」を購入、このほどテスト航海を行いました。

大島は東京から約100km、モーターボートなら1時間もあれば楽に行けることができます。

いずれ艇もふやして、往復はダイナミックな太平洋のボートインングをたっぷり楽しんでいただくというわけです。



大島までの1時間は快適そのもの。



家族全員での汐干狩は子供の日の最大のプレゼント。

小豆島・汐干狩クルージング

大阪のデイラーである西菱オート(株)のYOCオーナーズクラブでは、5月5・6日小豆島へ汐干狩クルージングを行いました。ちょうど子供の日の連休とあって家族連れが多く、STR-20CCRなど13艇42名が参加しました。

晴天の鳴門海峡をひたはしり、途中徳島北泊で中食をとって、一時半には小豆島に到着しました。民宿で小休止ののち、全員で海岸に出て汐干狩を楽しみました。

夕飼の一ぱいは、昼の収穫をはじめ、新鮮な魚料理に舌鼓をうったものです。



今関商会「ヤマハボートショールーム」

各地に続々と新しいヤマハボートショップが誕生して、そのあか抜けした店舗造りが評判になっています。
 東京では4番目の直営店として「ヤマハボート池袋店」をオープンしました。環七通りの豊玉陸橋と西武線野方駅の間にあり、約200坪の敷地に大きなガラス張りの建物が印象的です。内部は吹抜けの明るいショールーム

ヤマハボート池袋店



ボートショップにふさわしいモダンな建物が人目をひく。



こちらは神奈川県相模原市の国道16号ぞいにオープン

した、今関商会商事部のショールームです。ここも吹抜を生かした近代的なデザインが人目をひいています。神奈川県北部に大型ボートショップができたのは初めてですが、今関商会は相模原市、川崎市、八丈島、三宅島に計7ヶ所のガソリンスタンドを営んでおり、マリンスレジャーの明るい見通しからこの分野にも進出したというわけです。湘南に新しいマリナーの開発を計画しており、総合マリnEnterpriseとしての将来が期待されます。

になっており、YAMAHA 15DXもセールズで展示されています。通りに面したスペースには新艇がずらりと並び、道行く人の足をとめています。
 ところ／東京都練馬区豊玉南2の23の1
 TEL／(03) 993-7421

ところ／神奈川県相模原市中
 央2の7
 TEL／(0427) 521-4
 855



外の話題

シーズンオフはボートショーで

国土もボート人口も、わが国とは較べものにならない、アメリカでは、ボート・ショーも年に一度のお祭りではない。
 今年も1月26日から2月4日まで、ニューヨーク・コロシアムで開かれた「ナショナル・ボートショー」を皮切りに、10月19日にマイアミのデイナー・キー・オーデイトリアムで開かれる「マイアミ・ダイナキアー・ボートショー」まで。
 ボート族がボートイングリに熱中する、五、八月を除いて、いつどこかでボートショーが開かれているとは豪華なもの。

オフショアレース		
月日	レース名	場所
7月18日	ヘネシーグランプリ	プレザント岬 ニュージャーシー
8月18日	ヘネシーカップ	ロングビーチ カリフォルニア
9月1日	カタリナ盃争奪	ロングビーチ カリフォルニア
11月10日	ヘネシー・キーウエスト	キーウエスト フロリダ
無制限ハイドロ級		
6月2-3日	大統領盃	ワシントンDC
6月17日	ガバーナー盃	デトロイト
7月1日	スピリットオブデトロイト	デトロイト
7月8日	ガバーナー盃	マヂソン イリノイス
7月22日	ゴールドカップ	トリシテー ワシントン

●日付はすべてアメリカ暦、観戦申込みの際はご注意ください。

ビューティフルなセーリング入門艇

YAMAHA-13

が好評です

あざやかな黄色い艇体がトレードマークのYAMAHA13は、初心者にも扱いやすく、軽くて強い艇体構造と安全設計が好評です。

基礎的なテクニックをマスターしたら、豊富なオプションでいっそう高度なセーリングをお楽しみください。

仕様●全長—4.15m●水線長—3.90m●全幅—1.70m●排水量—120kg●吃水—C-Bup0.15m/down1.02m●帆面積—10.1m²

シーマンの誇りが感じられる……

●新しいヤマハマリンアクセサリーができました●



ネクタイピン

操舵輪の上にSTR-25ospをあしらった、いかにもシーマンにふさわしいタイピンです。



シーナイフ

クルージングなどに絶対に偉力を発揮する4徳ナイフです。ナイフをはじめ、マイナスドライバー、シャックル回し、スパイクがセットされています。

★お近くのヤマハボートショップでお求めください。



健全な 海洋レクリエーションの 普及のために

近年、モーターボートやヨットによる海洋レジャーが急速に普及するとともに、漁業者とのトラブルやボート同士の事故なども多発の傾向にあります。

ヤマハでは、海の遊びが健全なレクリエーションとして発展することを願い、適切な環境づくりと正しいボートマン精神の確立をめざして、地域社会の指導的なカタガタや販売、管理の関係者と一体となって小型船安全協会の設立を推進させ、種々の活動を行なっています。

小型船安全協会のおもな活動目標

1. 漁業者とボートマンなど、水面利用者同志の相互理解促進。
2. ボートマンに対する正しい海洋レジャーの指導。
3. 健全な海洋レジャーの普及を通じての地域社会の発展促進。

小型船安全協会のおもな事業

1. 新聞発行

- ・海運局、海上保安庁など取締当局や海難防止協会よりの情報を掲載

2. 安全パトロール活動

- ・危険海域の指示、無謀運転への注意
- ・漁民とのトラブルを避ける為の指示
- ・トラブル艇の救助
- ・その他安全思想の徹底

2. 安全講習会

- ・ボートオーナー安全講習会
- ・マリーナ安全講習会